



連携事例18

R5.8 更新

NICO-kama fes

(ニコカマフェス)

ちば
コラボ大賞
受賞事例

■協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地域
-----	----	----	----	----

■事業運営団体

NICO-kama fes実行委員会

■協働パートナー

- ・NICO-kama fes実行委員会
 - ・鎌ケ谷市
 - ・株式会社セブン&アイ・クリエイトリック
- 計3団体

■事業費

200万円

■資金調達手段

委託料・助成金・寄附・利用料等受益者負担・運営団体負担・その他

事業概要

鎌ケ谷市内及び近隣市の子育て中の世代を主な対象として、平成26年3月にアクロスモール鎌ケ谷を会場として初回、平成27年3月にはショッピングプラザ鎌ケ谷を会場として第2回を開催。平成28年8月には会場をショッピングプラザ鎌ケ谷及びきらり鎌ケ谷市民会館へと拡大した。鎌ケ谷市は第2回には後援を行い、第3回からは共催としてイベントに参加している。

イベントでは、市民出店の手作り品の販売・体験ブースや、市民活動団体・子どもに人気のあるタレント等を招待したステージイベント、市の子育て支援事業（児童センター、ブックスタートボランティアによる絵本の紹介等）を実施している。

○協働までの経緯

「全国各地域で行われている子育て応援イベントを地元でも実施したい」「鎌ケ谷市であれば『街で子育て』を実現できるのでは」という思いから、子育て世代の母親が集まり実行委員会を結成。地元の企業や趣味でものづくりをしている母親等を集め、出展者側・参加者側各々が触れ合う機会を設けることで、地域の活性化や、子育て世代同士の交流のきっかけづくりを図る。

○主な事業内容(年間スケジュール等)

鎌ケ谷市が共催として参加し市の子育て支援策のPRを図るとともに地元のショッピングモールが協賛することで、地域全体での子育て支援を応援する仕組みとなっている。また、実行委員会は子育て中の母親で構成されているため、イベントの主な対象である子育て中の母親・父親と同じ目線でイベントを実施することが出来ている。

● 主な協働パートナーとの役割分担

【実行委員会】
イベント全体の企画および運営、広報、ステージイベント（市民団体）

【行政】
開催場所の提供、イベントの周知協力、市の子育て関係事業の出張開催、ステージイベント（ゲスト）、その他必需備品の貸出等。

【企業】
開催場所の提供、イベントの周知協力

● 協働事業によって生まれた成果

地元でのイベント開催ということで、自分たちの街への愛着などを育てるきっかけや、出展者側・参加者側各が触れ合う機会を設けることで地域の活性化や、子育て世代同士の交流のきっかけづくりに繋がっている。

● 今後力を入れていきたいこと

母親だけでなく、父親や子育てにかかわる方、学生など多くの人に参加できるような企画をしたい。また、子育て中の母親が楽しめるよう、実行委員会の世代交代や時代に合わせてイベントの内容を変えていくことも検討していきたい。

♡ コラボのコツ!!

★イベントの対象と同じ目線で実施！

本イベントの主催であるニコカマフェス実行委員会は子育て中の母親で構成されているため、イベントの主な対象である子育て中の母親・父親と同じ目線でイベントを実施することができる。

このことから、大人の参加者と小さな子ども連れの参加者の休憩所を分ける、ベビーカー置き場や広めの通路の確保など、子育て世代が通常のイベントに参加するうえで気になる点について、細やかなところまで配慮したイベント実施が行われている。



協働事例プロフィール

【活動開始年】 平成28年8月25日

【活動のPR手法】 実行委員会HP：<http://nicokamafes.weebly.com/>

Instagram：<https://www.instagram.com/nicokamafes/>

Facebook：<https://www.facebook.com/nico.kama.fes/>

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】 jcom・船橋読売新聞、ちばコラボ大賞（2017年）

【問い合わせ先】 担当者：鎌ヶ谷市役所 こども支援課 こども支援係

※問い合わせフォームからお問い合わせください。